

# 浦幌町郷土博物館報告

Science Report of the Urahoro Municipal Museum

第 6 号  
1975. 1



謹  
賀  
新  
年

一九七五年元旦

浦幌町郷土博物館  
館長 野沢 貞男  
外職員一同

## 年頭所感

野沢 貞男

新年明けましておめでとうございます。

浦幌町郷土博物館の創立は、1969年6月で未だ満5年を迎えたばかりの若い博物館であります。1951年に博物館関係者の御努力によって「博物館法」が制定され、社会教育機関としての法的基盤が確立したわけですが、地方博物館は予算・施設・人的配慮等々に多くの制約があり、資料の収集、整理保管、展示、調査研究、教育普及という5つの柱を、調和のとれたものとし、博物館活動を維持・推進することはなかなか困難なことのように思われます。

博物館活動のすべての基礎は「記録」にあり、更に適切な環境の下に保存され、更にまた発展的にこれらの諸資料が地元住民や関係者の方々に利用されることを館では心待ちにしております。また、この『浦幌町郷土博物館報告』もこうした博

物館活動の一環として、1972年より発刊を始めた次第であります。こうした資料の調査研究、公表を着実なものとし、先に述べた5本の柱を発展させて行くことが私共博物館関係者の任務であると考えます。

しかしながら博物館の扱う分野は、歴史・芸術・民族・産業・考古・自然科学・開拓記念物等と雑多多岐にわたっており、その専門性は増え深かり来館者の希望に十分に応じられないのも現実であります。

1975年はこれらのことと序々に解消し、地元住民各位並びに関係者各位の希望に十分に添えるよう尽力致す所存でありますので、今後共変わらない御支援をお願い申し上げて、年頭所感といたします。

(教育長・浦幌町郷土博物館長)